

あらためて

災害時 要配慮者支援を考える

～地域の防災・減災のための障がい者理解を中心に～

災害発生時に特に支援を必要とする「要配慮者」への支援は、地域での支え合いが不可欠です。今回のシンポジウムでは、特に、障がい者への実践事例や当事者の声を取り上げ、共有することで、地域の支え合いを進めていくきっかけとします。

2024年

日程

3月23日(土)

時間

13:30～16:00

場所

調布市市民プラザあくろす3階ホール1、2

〒182-0022 東京都調布市国領町2丁目5-15



アクセス

対象

本テーマに関心のある方どなたでも

定員

60名

基調講演

「災害時における障がい者支援」

特定非営利活動法人難民を助ける会 (AAR Japan)

小田隆子 氏

事例報告

登壇者

水戸和幸 氏 (電気通信大学 教授)

(予定)

高江洲幸男 氏 (障がい当事者)

毛利勝 氏 (こくりょう・みんなの広場 防災部部长)

参加費

無料

申込み

申込み

下記 URL または右の二次元バーコードから申込。

<https://forms.gle/GzzmCzUMe9HnLnrD6>

〆切 3/21(木)



登壇者プロフィール

小田隆子 氏

約 30 年にわたりトルコに在住し在外公館に勤務、2012 年に帰国した後は特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR Japan)の東京本部でトルコにおけるシリア難民支援に従事してきた。2022 年から国内災害も兼任。難民を助ける会は 1979 年以来国内外の難民を支援、これまでに世界 60 カ国以上で活動を行なっており、2011 年の東日本大震災以降、地震、水害など国内での災害での緊急・復旧・復興支援を行っている。国内外でも特に障がい者施設などへの支援に重きをおいている。

水戸和幸 氏

電気通信大学 大学院情報理工学研究科、情報理工学域情報学専攻、1 類（情報系）教授
東京都立調布特別支援学校の児童・生徒が安全で豊かな学校生活を送れるように応援する「リソース・ネット」のメンバー。メンバーは近隣住民をはじめ、隣接する電気通信大学の学生、教員や調布特別支援学校の教員、保護者など。いざというときの備えと支え合う関係づくりを目指すため、公開講座や防災訓練などを企画、実施している。

高江洲幸男 氏

生まれつき脳性麻痺による四肢体幹機能障害で生まれ、養護学校を卒業後、自立生活センターで自立生活を学び調布市内で一人暮らしを始める。その後、桜美林大学に入学し社会福祉を学びボランティア活動に積極的に活動する。卒業後、自立センターの職員や当事者相談員として活動し、現在は八王子地域生活支援室高尾で相談員として働いている。また、調布市障害者地域自立支援協議会「学齢期の福祉教育を考えるワーキング」の委員などを行いながら、調布市内の小中学校で出前講座や障がい理解の講演会などの講師で活躍している。

毛利勝 氏

こくりょう・みんなの広場 防災部部长

こくりょう・みんなの広場は、平成 19 年 4 月に地区協議会として設立。夏期や年末の防犯パトロールのほか、防災対策の推進、地域運動会・児童館まつりといった各種の地域イベントへの参加など、継続的な活動により地域のネットワーク強化に取り組んでいる。防災部は、災害が発生したときに、国領小学校地区全体として、人的・物的被害を最小限に抑えるべく、率先して防災活動へ参力し、知識・経験・技術の向上を図り、国領小学校地区全体の防災意識の向上に貢献することを、目的として活動している。

※日程やプログラムは予告なく変更することがあります。

※本プログラムは東京都災害ボランティアコーディネーター養成講座のボランティアリーダーコースの一環で実施します。

アクセス

【電車】京王線 国領駅 改札口を出て右手に徒歩 1 分

【バス】狛江駅⇄武蔵境駅 小田急バス（境 91 系統）

国領駅バス停 徒歩 1 分

【車】当センターに駐車場はございません。駐車場ご利用の方は、コクティータウン駐車場をご利用ください。

※旧甲州街道側にある、「居住者用駐車場」と間違えないよう、ご注意ください。

【自転車】駐輪場ご利用の方は、建物の周りに数ヶ所あるコクティータウン駐輪場（有料）をご利用ください。

